

科目名	ダンスⅦ							年度	2025
英語科目名	Dance Ⅶ							学期	前期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必／選	選	時間数	60	単位数	2	種別※	実技
担当教員				教員の 実務経験			実務経験の 職種		
【科目の目的】 ウォームアップとしてストレッチと筋力トレーニングから開始する。ストレッチでは呼吸法と背骨の動きに特化したエクササイズ(JAZZダンス)を取り入れる。その後基本的なレッスンの流れに沿って取り組む。									
【科目の概要】 バレエ・ジャズダンスなどを通じて、身体表現方法を学びながら柔軟性、体幹を鍛え、美しい姿勢を目指し、より高度な技術を身につける。									
【到達目標】 1年次で取り組んだクラシックバレエの入門レベルからさらにステップアップした技術を身につけ、ダンスの知識やテクニックを舞台公演のダンスシーンで活かせるようになる。また、毎回の授業で取り組むストレッチと筋力トレーニングにより柔軟性が向上し、身体に対する関心や意識が高まることが望ましい。それにより、身体を動かす体力の強化の必要性や重要性を認識し、継続してトレーニングをする意欲に繋がることを目標とする。									
【授業の注意点】 多人数のグループの中で個々の差に対応するため、コミュニケーションを重視する。疑問点は教員が直接指導できる授業内での解決を目指し、積極的に質問するよう心がける。バレエのレッスンでは怪我の可能性も含むため、周りの生徒との接触には十分配慮し、スムーズな授業進行に協力すること。怪我をしている場合は予め申し出をし、担当教員の判断で授業見学を認めるが、体調不良による見学は認めない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	ストレッチを正確に行い、身体の柔軟性と可動域が著しく向上している。	ストレッチをほぼ正確に行い、身体の柔軟性と可動域が向上している。	ストレッチを概ね行い、身体の柔軟性と可動域が少しずつ向上している。	ストレッチが不十分な点がある。基本動作に改善の余地がある。	ストレッチが出来ていない、または形だけを行っている。				
到達目標 B	身体の軸が安定しており、バランス感覚が極めて高い。	身体の軸は安定しており、バランス感覚も高い。	身体の軸は比較的安定している。	身体の軸が安定しない場合がある。	身体の軸が安定せず、バランス感覚に欠ける。				
到達目標 C	音楽のリズムやニュアンスを的確に捉え、オリジナリティ溢れる表現をしている。	音楽のリズムやニュアンスを捉え、表現力も豊かな。	音楽のリズムを捉え、身体で表現しようとしている。	音楽のリズムを捉えることに苦労している。	音楽のリズムを全く捉えられていない。				
到達目標 D	常に積極的にレッスンに参加し、クラスメイトを指導するなど、リーダーシップを発揮している。	積極的にレッスンに参加し、クラスメイトと協力して課題に取り組んでいる。	レッスンに積極的に参加し、クラスメイトとの協調性もみられる。	レッスンへの参加は積極的だが、協調性が不足している場合がある。	レッスンに消極的で、クラスメイトとのコミュニケーションが不足している。				

到達目標 E		遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い	
【教科書】 レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。							
【参考資料】							
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		ダンスⅦ				年度	2025
英語表記		Dance Ⅶ				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ストレッチ 振り付け①	①曲に合わせてカウントを取り踊ります。振りを正しく覚える。	ストレッチ		柔軟性の向上		
			基礎動作の習得		ダンスの基本的な動きを習得		
			振り付け		振り付けを正確に覚える		
5	ストレッチ 振り付け②	②振りのブラッシュアップ、精度を上げる。	ストレッチ		柔軟性の向上		
			振り付けの復習		振り付けの定着		
			振り付けの修正		振り付けの表現力を向上		
3	ストレッチ 振り付け③	③曲のイメージなどに合わせ表情やニュアンスをつけて踊る。	ストレッチ		柔軟性の向上		
			振り付けの復習と修正		振り付けの完成度向上		
			ダンスの表現		曲のイメージなどに合わせ表情やニュアンスをつける		
4	ストレッチ 振り付け①	曲を変えて新しい振りを付ける。以上同上。	ストレッチ		身体の柔軟性を維持し、怪我を防止		
			新曲の導入		新曲への適応		
			新しい振り付けの学習		振り付けの応用力の向上		
5	ストレッチ 振り付け②	②振りのブラッシュアップ、精度を上げる。	ストレッチ		柔軟性の向上		
			振り付けの復習		振り付けの定着		
			振り付けの修正		振り付けの表現力を向上		
6	ストレッチ 振り付け③	③曲のイメージなどに合わせ表情やニュアンスをつけて踊る。	ストレッチ		柔軟性の向上		
			振り付けの復習と修正		振り付けの完成度向上		
			ダンスの表現		曲のイメージなどに合わせ表情やニュアンスをつける		
7	ストレッチ 振り付け①	曲を変えて新しい振りを付ける。以上同上。	ストレッチ		身体の柔軟性を維持し、怪我を防止		
			新曲の導入		新曲への適応		
			新しい振り付けの学習		振り付けの応用力の向上		
8	ストレッチ 振り付け②	②振りのブラッシュアップ、精度を上げる。	ストレッチ		柔軟性の向上		
			振り付けの復習		振り付けの定着		
			振り付けの修正		振り付けの表現力を向上		
9	ストレッチ 振り付け③	③曲のイメージなどに合わせ表情やニュアンスをつけて踊る。	ストレッチ		柔軟性の向上		
			振り付けの復習と修正		振り付けの完成度向上		

		る。		ダンスの表現	曲のイメージなどに合わせ表情やニュアンスをつける		
10	ストレッチ り付け①	振 曲を変えて新しい振 りを付ける。以上同 上。		ストレッチ	身体の柔軟性を維持し、怪我を防止		
				新曲の導入	新曲への適応		
				新しい振り付けの学 習	振り付けの応用力の向上		
11	ストレッチ り付け②	振 ②振りのブラッシュ アップ、精度を上げ る。		ストレッチ	柔軟性の向上		
				振り付けの復習	振り付けの定着		
				振り付けの修正	振り付けの表現力を向上		
12	ストレッチ り付け③	振 ③曲のイメージなど に合わせ表情やニュ アンスをつけて踊 る。		ストレッチ	柔軟性の向上		
				振り付けの復習と修 正	振り付けの完成度向上		
				ダンスの表現	曲のイメージなどに合わせ表情やニュアンスをつける		
13	ストレッチ り付け④	振 曲を変えて新しい振 りを付ける。以上同 上。		ストレッチ	身体の柔軟性を維持し、怪我を防止		
				新曲の導入	新曲への適応		
				新しい振り付けの学 習	振り付けの応用力の向上		
14	発表会	成果発表		リハーサル	リハーサルの実施		
				本番発表	本番のパフォーマンスの実施		
				振り返り	本番の振り返り		
15	振り返り	ビデオ上映		発表会映像の上映	映像を視聴し振り返り		
				ダンスの分析	映像を確認し振り付けを分析する		
				まとめ	パフォーマンスの向上に繋げる		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							